



このマニュアルについて

ここでは、このマニュアルの目的、対象読者、構成、表記法、および関連資料の入手方法について説明します。



(注)

シスコ製品についてこのマニュアルに記載されている情報は、最新のものでない場合があります。最新の資料は、シスコ製品のマニュアルのページから入手できます。次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

この章は、次の項で構成されています。

- 目的 (P.x)
- 対象読者 (P.x)
- マニュアルの構成 (P.xi)
- 関連マニュアル (P.xii)
- 表記法 (P.xii)
- 技術情報の入手方法、サポートの利用方法、およびセキュリティ ガイドライン (P.xiv)
- シスコ製品のセキュリティの概要 (P.xiv)

目的

『Cisco Unified Serviceability アドミニストレーションガイド』は、Cisco Unified Serviceability を介したアラーム、トレース、SNMP などの設定について説明し、設定手順を示します。本書は、次に示すマニュアルと併せてお読みください。

- 『Cisco Unified Communications Manager CDR Analysis and Reporting アドミニストレーションガイド』: Cisco Unified Communications Manager CDR Analysis and Reporting (CAR) ツールの設定方法および使用方法について説明しています。CAR は、ユーザ、システム、デバイス、および課金レポートを作成するために使用するツールです。このマニュアルには CDR 定義も含まれています。
- 『Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool アドミニストレーションガイド』: システムのさまざまな部分 (重要なサービス、アラート、パフォーマンスカウンタなど) をモニタするためのツールである RTMT の使用方法について説明しています。

対象読者

『Cisco Unified Serviceability アドミニストレーションガイド』は、Cisco Unified Communications Manager の設定、トラブルシューティング、サポートを担当する管理者を対象にしています。テレフォニーおよび IP ネットワーキングテクノロジーに関する知識が必要です。

マニュアルの構成

次の表は、このマニュアルの構成を示しています。

表 1 『Cisco Unified Serviceability アドミニストレーションガイド』の構成

各部構成	説明
第 1 部	<p>「Cisco Unified Serviceability」</p> <p>Cisco Unified Serviceability の概要を示します。ブラウザのサポート、GUI へのアクセス方法と GUI の使用方法について説明します。</p>
第 2 部	<p>「アラーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Serviceability アラームおよびアラーム定義の概要を示します。 • Cisco Unified Serviceability でアラームを設定する手順、Cisco Unified Serviceability アラーム定義を検索して編集する手順について説明します。
第 3 部	<p>「トレース」</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Serviceability でのトレース パラメータ設定の概要を示します。さらに、Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool でのトレース収集の概要も示します。 • Cisco Unified Serviceability ネットワーク サービスおよび機能サービス用のトレース パラメータを設定する手順を示します。また、Cisco Unified Serviceability でサービス用にトラブルシューティング トレース設定値を設定する手順を示します。
第 4 部	<p>「ツール」</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Serviceability に表示される各ネットワーク サービスおよび機能サービスの説明を示します。また、Cisco Unified Serviceability 機能サービスおよびネットワーク サービスのアクティブ化、非アクティブ化、開始、および停止に関する手順と推奨事項を示します。 • [CDR Management] ウィンドウを使用して、Call Detail Record (CDR; コール詳細レコード) と Call Management Record (CMR; コール管理レコード) のファイルに割り当てるディスク スペースの容量、およびそれらのファイルを削除するまでの保存日数を設定し、また CDR の宛先として課金アプリケーション サーバを設定する方法を説明します。 • Cisco Serviceability Reporter サービスによって生成されるレポートの概要を示します。また、Cisco Serviceability Reporter サービスによって生成されるレポートの表示手順を示します。
第 5 部	<p>「簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP)」</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Communications Manager による SNMP バージョン 1、2c、および 3 のサポートの概要を示します。管理者は、SNMP を使用してトラブルシューティングを行い、診断タスクおよびネットワーク管理タスクを実行します。 • SNMP バージョン 1、2c および 3 の設定手順を説明します。 • システムの連絡先およびシステムの場所のオブジェクトを MIB-II システム グループに設定する手順を説明します。

関連マニュアル

その他の Cisco Unified Communications Manager 関連マニュアルについては『Cisco Unified Communications Manager Documentation Guide』を参照してください。URL は次のとおりです。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_documentation_roadmaps_list.html

表記法

このマニュアルは、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	コマンドおよびキーワードは、太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{ x y z }	必ずどれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
ストリング	引用符を付けない一組の文字。ストリングの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてストリングとみなされます。
screen フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
→	このポインタは、例文中の重要な行を強調表示します。
^	^ 記号は、Ctrl キーを表します。たとえば、画面に表示される ^D というキーの組み合わせは、Ctrl キーを押しながら D キーを押すことを意味します。
< >	パスワードなどの出力されない文字は、かぎカッコで囲みます。

(注) は、次のように表しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

ワンポイントアドバイスは、次のように表しています。



ワンポイント・アドバイス

時間を節約する方法です。ここに紹介している方法で作業を行うと、時間を短縮できます。

ヒントは、次のように表しています。



便利なヒントです。

注意は、次のように表しています。



「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

警告は、次のように表しています。



「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の作業を行うときは、電気回路の危険性および一般的な事故防止対策に十分注意してください。

技術情報の入手方法、サポートの利用方法、およびセキュリティ ガイドライン

技術情報の入手、サポートの利用、技術情報に関するフィードバックの提供、セキュリティ ガイドライン、推奨するエイリアスおよび一般的なシスコのマニュアルに関する情報は、月刊の『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。ここでは、新規および改訂版のシスコの技術マニュアルもすべて記載されています。次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

シスコの暗号化製品に適用される米国の法律の概要については、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/wwl/export/crypto/tool/stqrg.html>

何かご不明な点があれば、export@cisco.com まで電子メールを送信してください。